

## 第3章 食育推進の基本的考え方

食育を市民一人ひとりが自ら健全な食生活を実践する市民運動として展開することが必要であり、本市では、地域や社会を挙げて食育推進に関して理解を深め、それぞれの役割と責務を認識した取組を展開してきました。

気仙沼市の3つの都市宣言は、海と山の恵みを受けた風土と生活の中ではぐくまれてきた「食」を次世代に伝えること、豊かな海の幸を生かした健康的な「食」を生活に取り入れること、そしてうるおいのある「食」生活を男女問わず考えることを市民に宣言しています。この言葉に込められた思いこそ、本市の食育を推進する考え方の基本であり、これからもこの地域に根差した食育をまちづくりの視点から展開していくことが必要です。第3次計画においてもこの考え方を基本とし、さらなる食育の推進を目指します。

### 1 「気仙沼スローフード」都市宣言の趣旨に基づく食育推進

私たちが暮らす気仙沼は、リアス海岸の海と豊かな山々に抱かれた美しい自然に支えられ、独自の食文化や生活様式を大切にはぐくんできました。

本市では、こうした美しい自然や食を地域の魅力ある資源と位置付け、個性的で魅力あるまちづくりを進めることを目的に、平成18年9月（旧市：平成15年3月）、「気仙沼スローフード」都市宣言をしました。

この宣言が目指し、取り組んでいる内容は「食をはぐくむ自然環境の保護」「伝統的食材・料理の継承」「生産者の保護・育成」「味覚教育の推進」「食の多様性に対する相互理解」であり、料理そのものだけに興味を持つのではなく、自然から私たちの食卓に運ばれるまでの過程についても思いをめぐらし、生活の中ではぐくまれてきた食を次世代に伝え、個性的で魅力あるまちであり続けるためのものです。

本市が地域を挙げて推進しているスローフード運動は、食育を「まちづくり」の視点からとらえた考え方や実践です。また、この運動は食育が国策として進められる以前から進められてきたもので、本市域は食育を実践する場として非常に適した地域といえます。

今後も「気仙沼スローフード」都市宣言に基づき、地域の取組や恵まれた自然、古くから培われてきた技術など、地域の特徴を十分に生かして食育を推進します。

## 「気仙沼スローフード」都市宣言

ふるさとを愛する私たちは、美しいリアスの海と緑豊かな山や川など、恵まれた自然環境と共生しながら、地域固有の食文化と生活を大切にしてきました。

しかしながら、近年、食を育んできた自然や伝統的な文化は、便利さを優先する生活様式の変化により、失われつつあります。

地域のかげがえのない財産である風土と食文化を守り、次の世代に伝えていくこと、そして多様性を認めあう心豊かな人間性を育み、自然と調和する住みよいまちにしていくことが私たちの願いです。

この願いを実現するため、私たちは、心をひとつにして、ここにスローフード運動の精神に基づき、自然と文化を守りながら、食を生かした個性的で魅力あるまちづくりを進めることを宣言します。

- 1 地域の豊かな食材を育む海や山、川などの自然環境を守り、次の世代に引き継いでいきます。
- 1 地域の風土が育んだ、伝統的な食材や料理技法、質の良い食べものと飲みものを守り、工夫し、提供していきます。
- 1 安全で安心な質の良い食材を生産する人々を守り、育てていきます。
- 1 子供たちを含め、人々に、食の楽しさや味覚の大切さ、真の心の豊かさを伝えていきます。
- 1 地域や国、信条の違いを超えて、それぞれのもつ食の多様性を認めあい、交流を通して相の理解を深めながら、世界の平和に寄与していきます。

平成18年9月27日 議決

気仙沼市

## 2 魚食健康都市宣言の趣旨に基づく食育推進

地域において取り組むべき食育推進の大きな柱として、日本の気候風土に適した、「日本型食生活」の実践が挙げられ、とりわけ、米と魚を基本とした、栄養面で極めて優れている食生活への改善が求められています。

本市は全国屈指の水産都市として、国民の動物性たんぱく質の供給に努めている地域であることや、我が国の米と魚を基本とした食生活が各国から高い評価を受けていることを鑑み、平成18年9月全国に先駆けて魚食健康都市を宣言し、魚食普及による健康の維持・増進を図り、市民が健康で快適な生活を送るための取組を推進しています。

本市における食育は、魚食健康都市宣言に基づき、産業や食生活における地域特性を十分に踏まえて推進します。

### 魚食健康都市宣言

気仙沼市は、全国屈指の水産都市として、国民の動物性たんぱく質の供給につとめています。

豊かな海の幸である水産物は、米とともに私たちの食生活にとって欠かせない食糧です。

米と魚を基本とした伝統的な日本型食生活は、各国から高く評価され、とりわけ我が国においては、魚食普及による健康の維持・増進が図られつつあります。

水産業を基幹産業としている本市は、極めて栄養的に優れている魚をとり入れた食生活により、市民がこぞって健康で快適な生活をおくることを願い、ここに魚食健康都市を宣言します。

平成18年9月27日 議決

気仙沼市

### 3 男女共同参画都市宣言の趣旨に基づく食育推進

食育の推進には、男女を問わず国民一人ひとりが自ら健全な食生活を実践できるよう、男女共同参画の視点も踏まえ、旧来の「食生活は女性の問題である」という考えを改めて、男性も女性も同様に食育に参加することが求められています。

本市では、海と緑に恵まれたこの地に生活する人々が、喜びも責任もわかち合い、共に支え合う男女共同参画社会の実現に努める必要性の認識の下、平成18年9月(旧市：平成13年9月)、男女共同参画都市を宣言し、男女が個人として尊重され、共に自立した社会を実現し、豊かで活力ある社会の構築を目指しています。

本市における食育は、男女共同参画都市宣言の趣旨を十分に踏まえ、性別を問わず、多様な主体の参加と連携・協力に立脚した市民運動として推進します。

#### 男女共同参画都市宣言

気仙沼市は、男女が社会のあらゆる分野において、男女平等の基本理念に基づき、互いに尊重し合い、共に向上する、豊かでうるおいのある地域社会をつくるため、ここに男女共同参画都市を宣言します。

たがいに ひとりの 人間として  
個性を 認め合い  
よろこびも 責任も わかち合うまち

職場に 地域に 家庭に  
女と男(ひと と ひと)が参画できるまち

リアスの風とともに 次代へ  
ささえあう心を つなげよう

平成18年9月27日 議決

気仙沼市